

ひとり親家庭支援プロジェクト

～第2回「わたしの夢、ぼくの夢、家族の思い出」 作文コンクール～

趣 意 書

子どもの貧困が社会問題となって10年近くが経ちますが、子どもの貧困率はますます悪化しています。特に母子家庭などの「ひとり親世帯」の子どもたちの貧困率は最悪とされています。最近はこども食堂や塾に行けない子どものための学習支援等々、民間の子ども支援が注目を集めています。

そこで、ひとり親世帯の子どもたちの現状と心情を知り、政策に活かしていくために、こども達の声を知る作文コンクールを2017年に実施しました。今年は第2回目として、募集する作文の内容ならびに対象を拡張し、実施することといたしました。

11月24日(土)には、横浜市のこどもの国にて表彰イベントを行い、受賞者とそのご家族を招待し表彰させていただきます。

主催は「ひとり親家庭支援プロジェクト実行委員会」とし、後援は、厚生労働省、こどもの国などにご協力いただきます。

是非当プロジェクトにご協力賜りますようお願い申し上げます。

敬具

2018年7吉日

ひとり親家庭支援プロジェクト実行委員会
委員長 赤松 良子
(元文部大臣、日本ユニセフ協会会長)
〒102-0084
東京都千代田区二番町1-2 番町ハイム814
NPO法人あごら内
電話番号 03-6256-9023
Email info@hitorioyakatei-shien.com

作文コンクールの開催概要

タイトル : 「わたしの夢、ぼくの夢、家族の思い出」
募集対象 : ひとり親家庭の子どもならびにその親
募集テーマ : 募集する部門ごとに下記のテーマを設定いたします
(子ども部門) (小中高生と学生でないひとも含め 20 歳未満)

- 「わたしの夢、ぼくの夢」として、あなたの将来の夢とともに、社会がどのように変化すればあなたの夢が叶うかについても、400 字詰め原稿用紙 4 枚までで提出してください。

(親部門)

- 「子どもへ託す夢」として、子どもが育って行ってほしい姿とともに、社会がどのように変化すれば親としてのあなたの夢が叶うかについて、400 字詰め原稿用紙 4 枚までで提出してください。

(親子部門) (学齢前の子どもも含む)

- 「家族の思い出」について、こども、親、それぞれの作品を提出してください。子どもは、400 字詰め原稿用紙 4 枚までの作文、または絵 (A 4 用紙横) を作品として提出してください。親は、400 字詰め原稿用紙 4 枚までの作文を提出してください。

表彰部門 : 子ども部門、親部門、親子部門
それぞれ、優秀賞 1 名、準優秀賞 1 名、佳作 3 名の計 15 名

賞金 : 優秀賞 10 万円、準優秀賞 5 万円、佳作 1 万円

- 募集要項 :
- 応募作品は返却いたしません。
 - ひとり何点でも応募することが可能です
 - 作品は必ず自分で書いたもの、未発表作品に限ります。
 - 親子部門への応募は、親子が揃って提出されたものに限ります

募集期間 : 2018 年 8 月 1 日～9 月 30 日

審査期間 : 審査委員会にて選定

1 次審査 2018 年 10 月上旬

2 次審査 2018 年 10 月下旬

受賞者への連絡 2018 年 10 月下旬

※各賞の発表は 2018 年 11 月 24 日表彰イベントにて

■告知方法

- ・作文募集サイトを開設し SNS やシングルマザー向け情報サイトから告知
- ・マスコミ各社による報道
- ・協賛企業ならびに関係機関等のメルマガや SNS で告知
- ・関係機関等へのチラシ配布、ポスター掲示など

■報道機関

NHK、新聞社、テレビ局、ラジオ局、FM放送など

■主催

ひとり親家庭支援プロジェクト実行委員会

■後援

母と子支援議員連盟、厚生労働省、こどもの国を予定

表彰イベントの開催概要

開催日時 : 2018年11月24日(土)

場所 : こどもの国 (横浜市青葉区)

イベント内容 :

- ・各賞の発表と受賞者への表彰状・賞金の授与。
- ・主催者および審査員からのコメント
- ・ひとり親のためのシンポジウム

■主催

ひとり親家庭支援プロジェクト実行委員会

■後援

母と子支援議員連盟、厚生労働省他関係省庁、こどもの国を予定

協賛概要

■協賛の名称

ひとり親家庭支援プロジェクト協賛金

■協賛金の使用について

当プロジェクトの収入は、助成団体からの助成、団体・企業様よりの協賛金を予定しています。

用途としましては、作文コンクールの賞金、受賞者の招待費（旅費交通費）、表彰イベント経費、運営活動経費等に充当させていただく予定です。

■協賛金額

一口 100,000 円より(何口でも結構です。)

11月24日(土)の表彰イベントには多くのひとり親家庭の親子が集います。ご協賛費として商品のご提供もよろしくお願いいたします。

協賛いただきましたら、当イベントの広報資料に貴社名を掲載させていただきます。法人の方で、寄付金控除をご希望の方は、事前にご相談下さい。

■募集期間：

2018年11月20日まで

■お申込/お振り込み先

連絡先にご連絡の上、下記口座にお振り込みくださいませ。

振込先：りそな銀行 参議院支店

普通 0044779

ひとり親家庭支援プロジェクト実行委員会

■連絡先／作文送り先

ひとり親家庭支援プロジェクト実行委員会事務局

東京都千代田区二番町1-2 番町ハイム814

NPO 法人あごら内

Tel 03-6256-8923 03-6256-9023

ひとり親家庭支援プロジェクト実行委員会

■ひとり親家庭支援プロジェクト実行委員会

委員長 赤松 良子	元文部大臣、日本ユニセフ協会会長
丹羽 雄哉	元衆議院議員 元厚生大臣、母と子支援議員連盟会長
坂口 力	元衆議院議員 元厚生労働大臣、母と子支援議員連盟副会長
徳川 家広	徳川記念財団理事 作家
横倉 義武	日本医師会会長 世界医師会会長
一色 浩三	富国生命保険相互会社 取締役
佐々木 典夫	社会福祉法人こどもの国理事長
和田 勝	国際医療福祉大学客員教授、NPO あごら理事長
円 より子	元参議院議員、母と子支援議員連盟顧問

■審査員

委員長 丹羽 雄哉	元衆議院議員 元厚生大臣、母と子支援議員連盟会長
小河 光治	公益財団法人あすのば 代表理事
松井 久子	映画監督、映画プロデューサー
円 より子	元参議院議員、母と子支援議員連盟顧問
和田 勝	国際医療福祉大学客員教授、NPO あごら理事長

■事務局

ひとり親家庭支援プロジェクト実行委員会事務局
〒102-0084
東京都千代田区二番町 1-2 番町ハイム 814 NPO 法人あごら内
Tel 03-6256-9023
Email info@hitorioyakatei-shien.com

こどもの国 アクセス

〒227-0036 神奈川県横浜市青葉区奈良町 700

JR 横浜線・東急田園都市線「長津田駅」より東急こどもの国線「こどもの国駅」下車。

■電車の場合

【渋谷駅から 50 分】

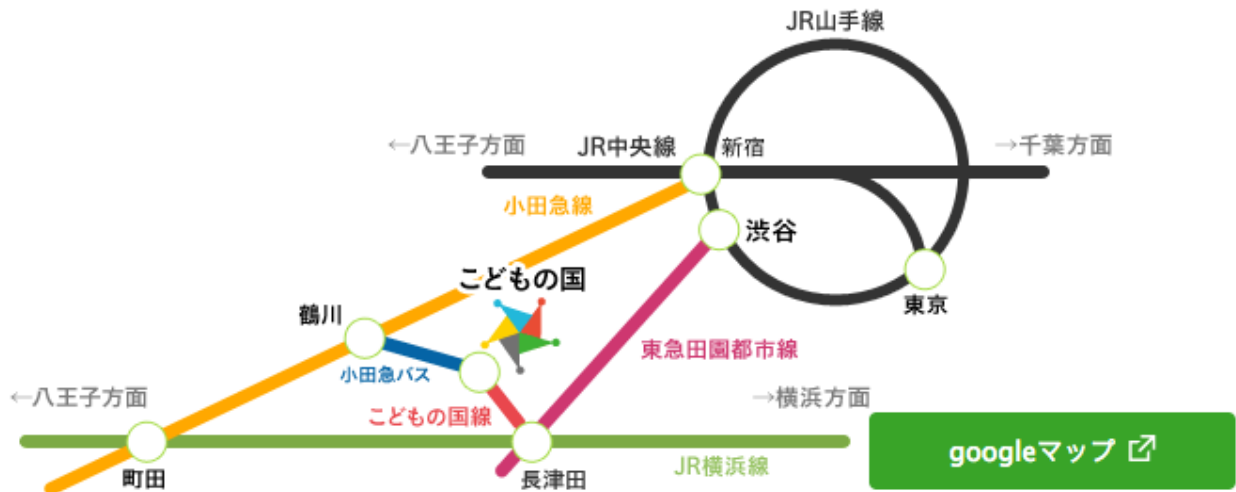
渋谷駅（東急田園都市線）→長津田駅（こどもの国線）→こどもの国駅

【横浜駅から 50 分】

横浜駅（京浜東北線）→東神奈川（横浜線）→長津田駅（こどもの国線）→こどもの国駅

所在地

〒227-0036 神奈川県横浜市青葉区奈良町700



土・日・祝日は駐車場や周辺道路が大変混雑しますので、電車・バスのご利用がおすすめです。